



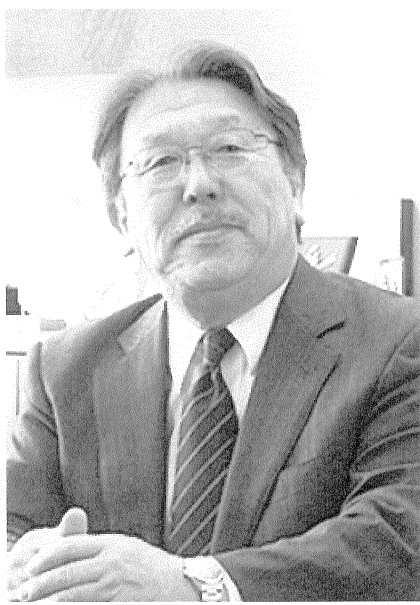
1966年の学科創設以来、8000人以上の卒業者を輩出してきた東北工業大学建築学科が4月1日から建築学部として生まれ変わる。大学に建築学部が設置されるのは北関東、東北、北海道で初めて。総合的な建築学をはじめ計画・設計、歴史、構造、環境・設備、材料・生産など幅広い学問を身に着け、国際社会に貢献できる建築技術者の養成を目指す。

2020年 4月

# 北関東・東北・北海道で初 東北工業大学が建築学部新設

## 本学の建学の精神、理念 そして建築学部の意義

学長 今野 弘



## 指導的役割を担う技術者を養成

1964年に創設された本学の建学の精神は、「わが国、特に東北地方の産業界で指導的役割を担う技術者の養成」であり、「創造から統合へ―仙台からの発進」をスローガンとして、学問、技術、環境、豊かさなどを創造する力と、創造したものを人間や社会に役立てる、いわゆる統合する力を備えた人材の育成に努めてきました。創造力と統合力を有する技術者の養成には、多様な学生の学修環境をいかに整備するかが重要です。これまでの学習履歴や育った地域環境などが異なる多様な能力と意欲を評価するという本学のアドミッションポリシーのもとで、それに応える教育環境を整備しています。講師、指導者は本学

教員のほか、実務者、企業や自治体職員、そして卒業生や地域の方などを意識的に配置しており、講義のほか、実験実習や演習、課題解決型、討議型など多様な方法、そして個人の能力開発とともに、グループでの共同作業、体験活動を通じた研修さらに学内外の正課外活動やイベント、国際交流でも学生が自ら考えて大きく成長していることは、各界での卒業生の活躍で証明されています。本学は、東北のSDGsの研究拠点として、学外の研究者と連携した研究の実践、成果を地域や企業との交流の中で還元するとともに、評価を受けて展開するという研究方法の一つの特徴としています。その活動は研修という教育実践で学生の教育にも重要です。本来「建築学」は、工学系からデザイン、歴史まで幅広い分野を学び、それらを統合するプロセスを経て、教養との連続性や融和性も高いなど工学部にはない特徴があります。建築学部には、設置は、建築学の特徴をより明確にし、それを活かした建築教育を目指し、三学部体制となつて本学の安定性の確保、持続的発展をアピールするという意義を持っています。

建築学部の新設を機に、これまでの本学の教育および研究環境をベースに今後とも人材育成と社会貢献に努めたいと考えています。

1964	東北工業大学設立
1965	工学部建築学科 文部省届出受理
1966	建築学科開設(70名)
1967	定員改定(80名)／教職課程開設
1968	定員改定(120名)／5号館(建築学科)落成
1977	卒業論文・卒業設計選択開始
1978	宮城県沖地震／5号館は日本初の外側ブレース耐震補強により修復
1979	建築学科同窓会結成
1985	第1回東北建築フォーラム開催
1987	定員改定(既定140名)／建築学科同窓会が尚建会を創設
1988	建築学科海外研修旅行開始
1990	建築学科卒業制作展(宮城県美術館)開始
1990	カリキュラムに建築CAD導入(建築系大学の必修科目で全国初)
1991	定員改定(既定170名)
1992	大学院建築学専攻開設
2000	臨時定員増分を以降毎年5名ずつ減
2003	建築学科卒業制作展(せんだいメディアテークに会場を移す)
2007	東北の建築を描く展開催(現在に至る)
2008	定員改定(120名)
2010	建築学部設置構想検討開始
2011	東日本大震災(在学生・入学予定者も犠牲)
2013	世界初の制震装置のハイブリッドレトロフィット考案
2016	建築学科50周年／企業図鑑発刊／企業OBOG交流会開催
2016	東京以外では初となる構造物ヘルスマニタリングシステム設置
2019	建築学部建築学科 文科省届出受理
2020	建築学部建築学科開設(135名)

### 歴史と実績をさらに発展

副学長・建築学部教授 渡邊 浩文

大震災、気候変化、感染症、そして高齢化やグローバル化…。環境変化と社会変化はめまぐるしく、息つく間もない毎日です。また情報技術の発展と普及は、数日もしくは数時間のうちに世界を動かすようになってきています。建築は、数十年から百年を考え創るものであり、数百年かけて文化を創るものでありますが、一方で現代社会の変化にも対応していかなければなりません。このような時代に求められる建築技術者は、広範な専門知識と経験をしっかりと身に着け、またさま

ざまな他者と協働しながら模範のない課題に自ら取り組むことのできる意欲と能力を持つ必要があると考えています。東北工業大学建築学部は、建築学の各分野を専門とする専任教員を多数擁して、これまでの歴史と実績をさらに発展させるべくスタートします。指導的役割を担う高度な建築技術者の養成が第一義ですが、実業界の皆さまとともに、持続可能な東北を研究・実践する拠点形成に努める所存です。関係各位におかれましては、忌たんのないご要望をぜひお寄せいただきたく、お願い申し上げます。



建築学部の拠点 市街地を一望できる高台にあり緑豊かな八木山キャンパス

### 東北工業大学建築学部新設おめでとうございます

<p>信頼と和で築く確かな未来</p> <p><b>株式会社 阿部和工務店</b></p> <p>代表取締役社長 船山 克也 代表取締役副社長 土岐 春夫</p> <p>古民家再生、神社・寺院建築も承ります</p> <p>仙台市青葉区上杉1丁目17-18 網谷ビル TEL.022(264)0411 FAX.022(225)5244 http://www.abekazu.co.jp</p>	<p>地球環境を創造する Create Earth environment</p> <p>土木・建築・産業廃棄物処理</p> <p><b>株式会社 鎌田建設</b></p> <p>代表取締役 鎌田 晴義</p> <p>本社 / 仙台市宮城野区子子権八160 TEL.022(258)8677(特) FAX.022(258)8660 産廃処理プラント / 仙台市宮城野区扇町3-4-2 TEL・FAX.022(238)2650</p>	<p>高める、つくる、そして、支える。</p> <p><b>熊谷組</b></p> <p>常務執行役員東北支店長 大野 雅紀</p> <p>仙台市青葉区上杉5丁目3-36 TEL.022(262)2811 FAX.022(214)4034</p>	<p>創業74周年 そのいい顔を、設計します。</p> <p><b>株式会社 盛総合設計</b></p> <p>代表取締役会長 栗原 憲昭 代表取締役社長 栗原 将光</p> <p>〒980-0011 仙台市青葉区上杉3丁目3-16 TEL.022(222)6887(特) FAX.022(224)2397 https://www.sakari.co.jp</p>	<p>空気と水の環境創造企業</p> <p><b>SANKEN</b></p> <p><b>三建設備工業株式会社</b></p> <p>執行役員東北支店長 廣瀬 彰信</p> <p>東北支店 〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目13-22 TEL.022(221)3331 FAX.022(225)4108</p>	<p>子どもたちに誇れるしごとを。</p> <p>SHIMIZU CORPORATION</p> <p><b>清水建設</b></p> <p>常務執行役員支店長 山口 真樹</p> <p>東北支店 / 仙台市青葉区木町通1丁目3番26号 TEL.022(267)9111 FAX.022(225)0476 HP https://www.shimzu.co.jp/</p>
<p>Spirit Of Place</p> <p><b>株式会社 関・空間設計</b></p> <p>代表取締役社長 渡邊 宏</p> <p>〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-8 第一広瀬ビル9階 TEL.022(398)9161 FAX.022(398)9162 E-mail: seki-kukan@sopnet.co.jp</p>	<p>人に、街に、大地に。</p> <p><b>仙建工業株式会社</b></p> <p>本社 / 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目2-13 TEL. 022-225-8511</p>	<p><b>向井建設株式会社</b> 東北支店</p> <p>代表取締役社長 遠藤 和彦 常務取締役東北支店長 稲村 忠夫</p> <p>支店 / 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目5-17 TEL.022(267)2611 FAX.022(267)3159 本社 / 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目8-1 TEL.03(3257)1301 FAX.03(3257)1335</p>	<p><b>DAIICHI SETSUBI</b> Engineering corporation</p> <p><b>第一設備工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 田島 久男</p> <p>東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル TEL.03(5443)5100 HP http://www.issetsu.co.jp/</p>	<p>私も目建で 頑張りました。</p> <p><b>日建学院</b></p> <p>あなたの夢、応援します。</p> <p>仙台校 TEL.022-267-5001 盛岡校 TEL.019-659-3900 青森校 TEL.017-774-5001 秋田校 TEL.018-801-7070 山形校 TEL.023-622-5100 郡山校 TEL.024-941-1111</p>	<p>祝・東北工業大学 「建築学部」新設 おめでとうございます!</p> <p>昭和も平成も令和も 努力を結果に 結びつける</p>
<p>100年をつくる会社</p> <p><b>鹿島</b> KAJIMA CORPORATION</p> <p>常務執行役員東北支店長 勝治 博</p> <p>仙台市青葉区二丁目1-27 https://www.kajima.co.jp/</p>	<p>街をつくる 人をつなぐ 技術をいかす</p> <p><b>共立建設株式会社</b> 東北支店</p> <p>執行役員支店長 門 関 喜美男</p> <p>仙台市宮城野区榴岡四丁目3番10号(仙台1ビル1階) TEL.022(297)5801(特)</p>	<p>代表取締役 小林 照和</p> <p>事業領域 空調機設備・給排水衛生設備・消防設備・水道設備 TEL.0981-14001 本社 / 〒983-0035 仙台市宮城野区日通1-1-35 TEL.022-236-3511 FAX.022-236-3661 支店 岩手 盛岡</p> <p><b>株式会社 興盛工業所</b> ライフをラインする</p>	<p>祝・東北工業大学建築学部新設</p> <p><b>EAST SASAKI</b> 株式会社 佐々木組</p> <p>本社 / 岩手県一関市山字中野140-5 TEL.0191-25-2211(特) 盛岡支店・仙台営業所・三陸営業所</p>	<p>「大きな安心」を「未来」に</p> <p><b>DAISUE</b> <b>大末建設</b></p> <p>本社・大森店: 〒541-0056 大阪府中央区久太郎町二丁目5番28号 東京本店: 〒136-8517 東京都江東区新砂一丁目7番27号 東北支店: 〒980-0014 仙台市青葉区本町一丁目12番30号</p>	<p><b>TAKAYA</b> SINCE 1930</p> <p>代表取締役社長 望月 光雄 TEL.019-659-2811</p>

企画特集

interview

学部化は10年来の悲願 「建築学」アピールしたい

建築学部長 石井 敏氏



建築学部新設の目的と経緯を教えてください。

10年ほど前、当時はリーマンショック後の不景気もあり志願者・入学生ともに減少し、苦戦していました。建築学部の入学定員は120人でしたが100人前後しかいない時期が続きまし...

建築学部になって何が変わりますか。

建築学を総合的かつ横断的に教育・研究するという基本姿勢は変わりませんが、工学部にあつた建築学が建築学部として社会と直接つながる立ち位置となることで、「建築学」をより社会にアピールすることができるようになります。将来的には、建築に興味を持つ子どもたちが、建築から志願者増も期待したいです。...

企業との連携を模索

どのような学生を育てたいですか。

本学は特に東北地方の産業界を担う、高度な技術者養成を目的と大学です。高度な知識・技術を備え、社会で活躍できる建設技術者・設計者を育てることが使命であり、また大きな目標です。学部化することでその姿がさらに明確になることでしょう。...

建設業界では女性が活躍する環境が整いつつあります。建築学部の女子の割合は20%前後ですが、今の時代を考えると、男女関係なく建築の仕事に携わることができ、現場で働くことも普通にできます。...

建設業界に求めることは。

おかげさまで今は景気が比較的良好、業界の人手不足もあり就職率はほぼ100%です。しかしこの先どうなるかわかりません。景気や社会状況は時代の中で大きく変動します。...

皆さんに「私たちはしっかりと建築教育をしている」ことを宣言することでもあります。より大きな責任を持って建築学を教育・研究して社会と建築学をつなげていくことが大きな目的となります。

建築学部の卒業生は幅広く活躍しているそうですね。建築学54年の歴史の中で8000人以上の卒業生は東北、全国の建築の世界で活躍しています。...

建設業界に求めることは。おかげさまで今は景気が比較的良好、業界の人手不足もあり就職率はほぼ100%です。しかしこの先どうなるかわかりません。...

東北工業大学建築学部新設おめでとうございます

Advertisement for Sogoshikaku Gakuin, featuring 'NO.1' ranking and '64.2%' pass rate for the 1st Architectural Design Exam.

Grid of advertisements for various architectural firms and studios, including INA, Kuji Architects Studio, and others.